



コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館 TEL:0220-55-2124
(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX:0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会

公民館の2階を中高生の勉強部屋に開放

家で集中して勉強できないという中高生の悩みに応えるために、2階大ホールの半分を勉強部屋に開放します。ゲーム等の遊戯は禁止です。期間は12月から3月3日までの土曜・日曜・祝日と冬休み期間で、利用時間は午前9時半から午後9時までです。公民館までの安全は、ご家庭で確保してください。

期間中で利用できない日は、今のところ、12月23日、27日～31日、1月1日～4日、13、14日の予定です。変更があった場合は公民館に掲示します。

米山中学校学校運営協議会での議論により実施することにしました。



「としよりの居場所づくり」事業

高齢者の冬期間の健康増進事業として始めた体育館を使った室内グラウンドゴルフ。12月4日から3月末までの平日（他の利用予約のない日）の午前中（9:00～12:00）利用できます。道具は公民館で用意しますので、体育館用の上履きだけ準備してお出てください。休憩用の湯茶も公民館に備えておきますので、お誘いあわせの上、ご利用ください。

なお、月例会大会は、12月22日、1月23日、2月21日、グランドチャンピオン大会は、とよま蔵ジウムで3月21日を予定しています。



イルミネーション装飾のお知らせ

今年も12月6日から25日までの毎日、夕方4時半から午後8時まで点灯させます。公民館の西側壁面にLED約4500個と駐車場の樹木数本に太陽光発電蓄電池を使ったLEDを飾りつけします。蓄電池のため天気によっては、点灯時間が短くなる場合がありますのでご了承ください。

昨年からはじめたイルミネーション、住民アンケートでも高い評価をいただきました。ぜひご覧ください。



男の料理教室受講者再募集

5月に受講生を募集したものの、応募者少数のため開講を保留していましたが、この度、短期集中講座として1月からスタートすることとしましたので、改めて受講生を募集します。

男性のみなさん、将来のあらゆるリスクを考えて包丁の使い方、料理の基本を勉強してみたいはいかがですか。

募集定員は10名、募集期限は12月20日（水）で公民館に電話でお申し込みください。人数が確定した段階で講師等の手配を行い、開催日を決定します。



第15回ふるさとよねやま秋まつり（11月4日・5日）

4年ぶりにふるさとよねやま秋まつりが開催されました。4日は文化祭作品展示コーナー、5日は展示コーナーのほかに、体験コーナー、ステージ発表、こども広場等が行われました。

文化祭展示コーナーの吉田公民館ブースには、キッズサークルの子供たちが作った木製小物入れ、陶芸教室の作品、女性サークルで作った、一閑張りを展示しました。そのほかにも、一般の部でたくさんの作品を応募していただきありがとうございました。

その中から、2名が館長賞に選ばれました。受賞おめでとうございます。



家庭教育学級「じゃんぷ」第3回学習会 祖父母参観（11月8日）

祖父母参観で身近な味噌作りを体験しました。登米町 tetote の菊地小百合氏を講師先生に迎え、味噌についてのお話を聞き実際に味噌づくりスタート。

温かい豆を袋の上から園児が足で潰して、塩と麴を混ぜ合わせ、おにぎりのように丸めて空気を抜き、タッパーに並べて出来上がり。約10ヶ月後に食べられるそうです。

「豆を潰すのが楽しかった。」「自分から進んで混ぜていました。」「私自身初めての味噌作りです」等、様々な感想を聞くことが出来き、楽しい学習会でした。



米山中学校区米山東小学校合同防災訓練（11月11日）

今年で3回目となる小中学校合同の防災訓練が行政区長や民生委員、社会福祉協議会、読み聞かせボランティアの皆さん方の協力を得て実施されました。

令和8年度に小学校が統合されるの見越して、今年度から町内3小学校同一の地震災害を想定したプログラムで行われました。その内、中学2・3年生の生徒は避難所の設営のみならず運営までの訓練を行いました。3年生は3回目となることからスムーズに設営していました。日頃の訓練の大切さを感じた一日でした。



3公民館合同歴史講演会（11月13日）



登米伊達家第16代当主伊達宗弘さんをお迎えして「登米伊達家900年の歴史絵巻」と題して講演いただきました。我が家の先祖のことを話すのは苦手で、あまり褒めるわけにもいかず、さりとて貶すわけにもいかずと冗談を交えて、奥州藤原氏の時代から現在まで、刈田、白石、伊達と氏は変われど900年続いてきた由緒をお話していただきました。

特に飢饉で逃げてきた南部流民を受け入れて新田開発させた二つ屋地区の話。明治維新の際に、北海道開拓を選択せず、家中全員を帰農させるために、全財産を分け与えて困窮した伊達家を旧臣が見かねて配分された土地の一部を持ち寄って救った話は心を揺さぶられました。

当日は約100人の聴衆が集まり、固唾をのんで講演を聴講しました。講演では、あまり触れられなかった40年で断絶した米岡白石家のことについて、その家臣の末裔である庄子喜一さんから解説がありました。地域民として、誇りにすら感じられる講演会でした。



吉田先人大学「第4回学習会」グラウンドゴルフ大会（11月14日）

毎年恒例のグラウンドゴルフ大会を開催。50名の学級生が優勝を目指して試合に挑みました。当日は曇り空で風も強く天気が心配されましたが、2つのコースで試合を行い、優勝32打、準優勝34打、第三位37打と、とても白熱した試合でした。また、13名の学級生がホールインワン賞を受賞しました。受賞した皆様おめでとうございます。12月から室内グラウンドゴルフも始まります。来年の大会優勝に向けてたくさんのお楽しみお待ちしております。



ホームメイドクッキング「第4回学習会」（11月15日）

今が旬の大根と大根の葉を豚バラ肉と一緒に炊き込みご飯！？ちょっと想像がつかないメニューや、野菜と鶏肉を昆布茶で茹でたり、塩分を控えたりと工夫一杯のクッキング。参加者からは美味しいの声がいっぱい。

今年のテーマ『骨こつ貯金をしよう！！』を目標にカルシウムや高血圧予防に塩分、カリウムの上手な取り方を学びながら楽しく学習を重ねています。

次回はお正月料理に挑戦の予定です。今から楽しみに待っています。



秋の歩け歩け大会（11月18日）

秋空の下、秋の歩け歩け大会が開催されました。前日が1日中、雨だった為、当日にいい森コースから平筒沼遊歩道1周コースへ変更し、米山町内の方総勢58名が集まり秋の平筒沼遊歩道約4kmを2時間程かけ散策してきました。

当日は、快晴で風もなくとても良いウォーキング日和で、春の大会に参加された方には、「同じコースだが春とはまた別の景色を見れてよかったね。」「のんびりみんなで話しながら歩くのいいね。」などの声上がり、無事楽しく終える事ができました。次回は、『春の歩け歩け大会』が開催されますので、是非ご参加ください。



地域づくり計画策定委員会「第5回全体会議」（11月22日）

今回は事業内容の検討が主な議題で、既存事業の見直し、新規事業の検討を行いました。新規事業では、登米市が掲げる「イベントから地域課題解決型事業へ」の方針に従い、アンケートで地域課題の実質第1位だった「空き家の増加」、暮らしにくい理由の第3位「不便な公共交通」の2つについて計画に盛り込むことになりました。なお、既存事業のうち、運動会や世代間交流大会については実施種目や競技方法の見直しを行うよう提言がありました。

8月に実施した住民アンケートの結果を取りまとめた分析レポートの概要版を12月中に配布する予定です。地域の実情・課題を地域の皆さんと共有したいと思います。アンケートご協力誠にありがとうございました。今後の地域づくり活動に活用してまいります。



館長の戯言（ざれごと）No. 25 「たんぼ」 参考図書：方言として残る古語 参照

熱燗が美味しい季節となりました。お燗する容器は「銚子」ですか、「徳利」ですか、それとも「たんぼ」ですか、はたまた「ピーカー」でチンですか。

もともと「銚子」とは平安時代から使われていたもので、イメージ的には結婚式の三々九度の場面で巫女さんが盃に注いでくれる金ピカのひしゃくのようなものことです。時代が下りポーリングのピンのような形の酒を入れる容器も「銚子」と呼ぶようになり、酒を注ぐ音がトクトクという音がするので「徳利」と呼ぶようになったとのこと。ほんとかな。

「たんぼ」は宮城・山形以北で使われている東北地方の方言です。「たんぼ」は漢字で書くと「湯婆」、鎌倉時代に唐音という当時の中国の発音で読まれたもので、江戸時代前期には大阪で一般的に用いられた言葉だったそうで、北前船を通じて伝わったものと考えられます。なお、この「たんぼ」にお湯を入れたものが「ゆたんぼ」で、暖房具の標準語として生き残っています。ちなみに漢字で書くと「湯湯婆」湯がダブって使われていますが、重言と言うそうです。